

NPO法人

全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿1-4-33
(Fax) 0277-43-8225 (振替) 00130-2-114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) http://japankatarinet.jp/

2016. 7. 10 発行

ニュース

ご縁が・・・楽しみです

大平 悦子 (神奈川県川崎市)

もうわくわくしています。なつかしいあの方にまたお会いできる、あの方の語りが聴ける、今度はどんな出会いや巡り合いがあるだろう・・・などなど。

島根県松江市。言わずと知れた『怪談』の小泉八雲が心から愛した地であり、八雲が「神々の国の首都」と表現した地です。そして神話と神さまのまち出雲、妖怪のまち境港に近く、さらに無形民俗文化財、佐治谷ばなしの里、鳥取県佐治にも近い。「雪女」「のっぺらぼう」「耳なし芳一」などのこわ～い怪談話、「キジとカラス」などのユーモアとウィットに富んだ佐治谷ばなしが楽しみです。もちろん著名な先生方の御講演も・・・。さて、この度出雲の神様たちはどのようなご縁を結んでくださるのでしょうか。

私は、第八回の福島県会津若松市の大会から参加させていただいています。いつも大満足でした。懐かしい方との出会い、思いがけない新たな出会いが、たくさんありました。

二年に一度、「語り」という共通の興味・関心を持つ者同士が全国から集う・・・なんと素晴らしいことでしょう！人と人との交流の場という意味でも、語りの素晴らしさを再確認してさらに全国に広め伝えるという意味でも、大変意義深いことと常々思っています。

語りの祭りが、様々な地域で開催されることも有り難いことです。地元の方との交流を通して、その土地柄に触れるチャンスです。なんといっても語りの祭典。その土地に伝わる民話を、生の土地言葉で聴くことができます。さらに、全国からたくさんの語り部さんが集まるのですから、さまざまな土地の民話や語りを聴くこともできます。語りに関わる者や語りに興味を持つ者にとって、こんな幸せはありません。また、毎回披露してくださる郷土芸能。第11回では「うらじゃ踊り」、第12回では「行山流水戸辺鹿子躍」でした。普通ならわざわざその土地に出かけていかななくては触れることのできない、伝統芸能に触れることができます。そして第12回の宮城県南三陸では、「復興」をテーマに被災地を訪ねたり、被災された方々から直接話を聞いたりして、改めて震災に思いをはせることができました。

語りや伝統芸能を通して、その土地の風土や歴史の一端に触れることができるのです。

このように「全日本語りの祭り」では毎回大いなる収穫があり、楽しませていただいています。

全国のみなさま、松江の玉造温泉は美肌に効果があり、万病に効く名湯とか・・・。ゆったりと名湯につかりながら、共にさまざまなお話を語らしましょう。

松江のみなさま、お世話になります。どうぞよろしくお願ひ致します。



ホテル玉泉の庭園